# COLUMN

## コラム　萩原　智子



21年前から、山梨県で私自身の名前の付いた大会を開催しています。2021年度もコロナ禍でしたが、無事に「萩原智子杯」を終えることができました。

今大会で21回目。1年1年、大会を作り上げてこられたのは、子供たちの「チャレンジする勇気」、そして周りで「子供たちの夢を応援したい」と思って下さる皆様のおかげです。各スイミングクラブの指導者の皆様、保護者の皆様、競技役員の皆様、そして大会を支えて下さるご協賛企業の皆様の熱い思いがあったからこそ、苦しいコロナ禍でも変わらず、子供たちの背中を押すことができたと思います。

「夢が繋がる大会」「障がい者と健常者が共にチャレンジできる大会」にしたいという想いで大会を重ねてきました。今大会は、東京パラリンピックで金メダルを含む、5つのメダルを獲得された鈴木孝幸選手にお越し頂き、子供たちの前で模範泳法、そして貴重なメッセージをいただきました。

鈴木選手は、ただ速い、ただ強いだけではなく、人間性の素晴らしさに会場の子供たちをはじめ、競技役員の皆さんも感激していました。競技者としても、一人の人間としても、鈴木選手の立ち振る舞いから、多くのことを学び、感じ取ることができました。山梨県ジュニアスイマーには、夢を繋ぐ場所で様々な経験をしてほしいと思うと同時に、鈴木選手のように「応援したい人・選手」になってほしいと心から思います。

「夢が繋がる大会」「障がい者と健常者が共にチャレンジできる大会」を目指し、これからも努力していきたいと思います。そして、この大会を「愛される大会」へと成長させていきたいです。

### Profile
### プロフィール

名　　前　萩原智子（はぎわら・ともこ）
生年月日　1980年4月13日
肩　　書　日本水泳連盟理事
日本マスターズ水泳協会理事
2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員
出 身 地　山梨
出 身 校　山梨学院大学付属高等学校
山梨学院大学
山梨学院大学大学院

中学3年生時に、海外遠征カナダ選手権200m背泳ぎで、当時、日本歴代2位となる日本中学新記録樹立。
高校インターハイでは、200m背泳ぎで、3連覇達成。同年アジア競技大会では、個人、リレー種目で、3個の金メダルを獲得。
2000年シドニー五輪、200m背泳ぎ4位、200m個人メドレー8位入賞。2002年日本選手権では、100m、200m自由形、200m背泳ぎ、200m個人メドレーで史上初の4冠達成。「ハギトモ」の愛称で親しまれ、2004年現役引退。
5年の歳月を経て、2009年現役復帰宣言。復帰レースとなった新潟国民体育大会では大会新記録で優勝。
翌年2010年には、30歳にして日本代表に返り咲いた。同年、ワールドカップ東京大会で50m自由形、100m個人メドレーで、短水路日本新記録を樹立。
2012年2月のJAPAN OPENでは、50m自由形で短水路日本記録を樹立。
2013年6月、日本水泳連盟理事に就任。
2015年、2020東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員に就任。
現在は、テレビ・ラジオ出演や水泳の解説のほか、自ら現場に行って取材を行い、ライターとしても活動の幅を広げている。
メディア出演のほかにも、これまでの人生経験をもとに講演活動を行うほか、改めて、自身を育ててくれた「水」に感謝し、水泳教室はもとより、「水の大切さ」や「水の教育」にも取り組む水でエデュケーション・コミュニケーションする「水ケーション」の活動にも注力している。また山梨県、福島県、愛知県で水泳大会「萩原智子杯」も開催している。

## ●投稿募集中

**【会員紹介コーナー】**
①A5判程度で、原稿と写真等を入れて構成してください。②団体等の名称、所在地（事務局または事務所）、連絡先を必ずお書きください。③内容は、活動紹介やPRなど自由です。④締め切りは特にありません。

**【行事予定】**
○主催団体名、日時、場所、内容、申込み方法、連絡先等をお教えください。




# きれい甲斐（かい）

No.92 MARCH 2022

環境パートナーシップやまなし



事務局●〒400-8501山梨県甲府市丸の内1丁目6-1山梨県自然共生推進課内
TEL.055-223-1634 FAX.055-223-1781 ✉shizen@pref.yamanashi.lg.jp


ホームページ　パートナーシップやまなし　検索


発行責任者●企画委員長　志　村　宏　司

R70 古紙パルプ配合率70%再生紙を使用しています


環境パートナーシップやまなしは、県民・事業者・行政のパートナーシップ（協働）のもと、団体間の連携や情報交換の場づくりなどを通じて、自主的な環境保全活動を積極的に展開していくことを目的として様々な活動を行っています。
環境保全に関する活動を積極的に行っている団体、個人のみなさまのご入会をお待ちしています。

## やまなし環境活動推進ネットワークフォーラムを開催しました

環境パートナーシップやまなしでは2月27日（日）に「やまなし環境活動推進ネットワークフォーラム」を公益財団法人やまなし環境財団と共催で開催しました。
今回のフォーラムでは新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のためオンライン開催としました。
当日は約40名の方に参加いただき、午後1時から3時まで「つなぐ伝える山梨県の森を守る取り組みSDGsの推進に向けて」をテーマにパネルディスカッションを実施しました。



# やまなし環境活動推進ネットワークフォーラム パネリストの紹介

今回のやまなし環境活動推進ネットワークフォーラムにパネリストとしてご参加いただいた皆様を紹介いたします。

### 南都留森林組合　竹田仙比古　参事

南都留森林組合の竹田仙比古参事からは南都留森林組合の活動を紹介いただきました。南都留森林組合では「地域の森林資源を活用しながら未来に繋がる森づくり、森を軸とした地域づくり」をミッションとして掲げています。

南都留森林組合では、所有者別に細かく分かれた森林の面的集約に向けた調整や林業に加工・流通・販売を組み合わせた林業の６次産業化の推進、森の大切さや森林資源の有効活用についての普及啓発活動や林業体験などを実施しておられます。

### 株式会社　TreeLumber　佐藤駿一　代表

佐藤駿一氏は東京農業大学で林学を専攻した後に、２０１７年より地域おこし協力隊として丹波山村へ移住し、２０２０年より（株）TreeLumberの代表に就任するとともに森林インストラクターや丹波山村の地域林政アドバイザーとして活躍されています。

（株）TreeLumberではTree（樹）をLumber（木材）へコンセプトに森林整備事業や販売、体験イベント、地域振興に取り組んでおられます。

### 北杜市地球温暖化対策・クリーンエネルギー推進協議会　草野香寿恵　副会長

草野香寿恵氏が副会長を務める北杜市地球温暖化対策・クリーンエネルギー推進協議会では森林の生態系の多様性を守るため、外来植物のオオキンケイギクのクリーン作戦を実施しています。

外来植物の種子は靴底に付着して様々な場所に侵入するため、同協議会では「八ヶ岳の森入り口」などの登山道入り口に靴底の泥落としマットを設置し、外来植物の種子が森林に侵入するのを防ぐ活動を実施しておられます。

### 南アルプス子どもの村中学校　ものづくり研究室　生徒

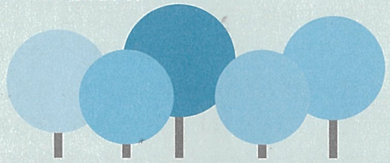
南アルプス子どもの村中学校では、生徒主体で体験学習を中心に学習が展開されています。クラスは縦割りでプロジェクトとよばれます。その一つ、ものづくり研究室では、間伐材や廃材を利用したものづくりにとりくんでいます。地域の方々に協力いただき、生徒たちは自分たちで伐採・製材した間伐材をつかってテラスや木材置場などを製作してきました。活動をとおして林業や森林の未来について考えています。



# やまなし環境活動推進ネットワークフォーラム開催状況の紹介

## プログラム

・開会あいさつ
・主催団体の活動紹介
（「環境パートナーシップやまなし」と
「公益財団法人やまなし環境財団」の活動紹介）
・パネルディスカッション
パネリストの活動紹介
ディスカッション
・閉会あいさつ



## 主催団体の活動紹介

主催団体の活動紹介では環境パートナーシップやまなしの活動内容と公益財団法人やまなし環境財団の活動をそれぞれ10分程度で紹介しました。

環境パートナーシップやまなしでは今年度も実施した「エコライフお絵かき・川柳コンテスト」の案内中心に篠原吉彦企画委員（環境に関する企業連絡協議会）から紹介いただきました。

公益財団法人やまなし環境財団からは箕浦一哉運営委員長（山梨県立大学教授）から当財団の助成金事業や表彰事業を中心にご案内いただきました。

## パネルディスカッション（パネリストの活動紹介）

パネリストの活動紹介ではパネリストの皆様から所属団体・企業・学校の活動内容について紹介をいただきました。

各パネリストも森林をテーマに様々な活動を展開しておられ、南都留森林組合の竹田仙比古参事からは林業の６次産業化等を紹介いただき、（株）TreeLumberの佐藤駿一代表から活動拠点になっている丹波山村の紹介と代表を務める（株）TreeLumberの活動紹介をしていただきました。

北杜市地球温暖化対策・クリーンエネルギー推進協議会の草野香寿恵副会長からは外来植物の種子の駆除活動を紹介いただきました。

南アルプス子どもの村中学校ものづくり研究室の生徒様からは学校の紹介と間伐材を使ったものづくり活動について紹介いただきました。

## パネルディスカッション（ディスカッション）

ディスカッションでは公益財団法人やまなし環境財団の鳥屋尾健運営委員（公益財団法人キープ協会）のコーディネイトのもとパネリストや参加者との意見交換がおこなわれました。

参加者からは各パネリストへの激励のコメントや質問が寄せられ、有意義なディスカッションが実施されたと思われます。